

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

◆点鐘：半田 稔 会長

◆ロータリーソング：それこそロータリー

◆司会：西谷 真一 S.A.A.

◆会場：大沼デパート



ロータリー：
変化をもたらす

第2798回例会

平成30年1月29日(月)

Yamagata West Rotary

会長挨拶

半田 稔 会長



節分

さて、来る2月3日は節分です。どうして節分と言うかご存知ですか？その翌日の2月4日は立春です。この日から春が始まる、そこでその前日、「季節の分かれ目」ということで、「節分」と言うようになりました。

では、季節は4つあるのだから、立夏、立秋、立冬の前日も節分か、

というと、実はそのとおりなのです。ただ、1年は春から始まることになっているので、立春は春の初日であると同時に、1年の始まりの日でもあります。その前日は1年の最後の日ということになります。そこで、立春の前日の節分には、良い年を迎えられるよう、悪いことを追ひ払う行事が行われるようになり、この日だけが節分と意識されるようになりました。

節分の行事ですが、有名なのは豆まき、恵方巻きでしょうか。柗鯛を玄関に飾るという習慣もあります。

なぜ鬼を相手に豆をまくのか、ここは株式会社でん六のホームページに詳しく書いてあります。元々宮廷で行われていた悪霊を追い払う儀式が、民間に伝わり、次第に広まっていったそうです。そして、宮中行事では、恐ろしいお面をつけた人が、矛と盾で悪霊を追い払うものでした。谷地の林家舞楽をイメージしてください。ところが長い年月をかけて民間に広まっていくうちに、追い払う側のお面の人が、いつのまにか追い払われる側の鬼のイメージで定着してしまったのだそうです。

では、鬼を退治する道具として豆が使われるようになったのはどうしてか？いろんな説があります。まず、大豆には強い生命力があることから、中国ではまじないなどに使われていて、その風習にあやかっただという説。京都の鞍馬山に住む鬼が人々を苦しめていたところに、毘沙門天が現れ、豆を鬼の目をめがけて投げるように言い残したという伝説があり、これに由来するという説。また、魔物である鬼の目、つまり「魔目(まめ)」をめがけて、豆を投げれば、魔物を滅する「魔滅(まめ)」ことができる、との説もあるようです。

先日、東京の知人が遊びに来て、「でん六豆が山形の製品とはとは知らなかった」と言われたので、私の方から、「山形のものだというのは有名で、山形の人はでん六豆で豆まきをしているというのは本当か、とよく聞かれるんですよ」と話を盛り上がったので、鈴木隆一さんの前で恐縮ですが、豆の話をさせていただきました。

幹事報告

五十嵐 信 幹事

- 細谷会員から受賞の記念として、平和基金に1,000ドルの寄付というお話がございました。財団の恒久基金から「ベネファクター」という表彰の立派な盾とピンが届いております。
- ポール・ハリス・フェローに、長谷川浩二さん、鈴木隆一さん、半田会長、3名が受賞されました。
- 2月17日はIMです。ご参加いただける方には別途、もう一回ご案内を申し上げます。
- ロータリーレートが、2月1日から110円になります。今、114円なので、来月がチャンスかなと思います。

委員会報告

ロータリー財団委員会 長澤 裕二 委員長

先日、ご寄付済みの方にも催促のメールを誤送信してしまいました。申し訳ありません。2月からロータリーレートは110円になります。まだご寄付を頂いていない方が約70名いらっしゃいます。ぜひ2月中によりしくお願いします。

青少年委員会

佐藤 英一 委員長

2520地区と合同でウインターキャンプで安比高原へ行ってきました。インバウンドの9名も集まり、楽しかったのではないのでしょうか。資料を各テーブルに1枚ずつ配布しております。写真等も載っております、ぜひご覧ください。ネルソン君の今後の予定は3月スプリングキャンプが岩手県水沢、5月千葉の幕張メッセに於ける日本青少年交換研究会に参加し、日本全国から交換留学生が集まります。6月16日は2800地区のアウトバウンド歓送会が地区で準備されております。その後、ブラジルに帰国予定です。一昨日から、長沢先生にホストファミリーが変更になっております。4月末から5月末ぐらいの1か月間、大江ロータリークラブにホストファミリーをお願いする予定です。5月末から6月帰国までもう一度、平吹会員へホストファミリーをお願いして、全日程を終了したいと考えております。小林由香さんから、マンスリーレポートが毎月届いております。

ニコニコBOX

東海林健登さん/父壽一の葬儀に際しては足下の悪い、忙しい中ご会葬頂きありがとうございました。また多くの弔電、献花を賜りまことにありがとうございました。

晋道純一さん/長男に初孫が誕生して嫁さんの実家の埼玉に行ってきました。世代が繋がることは、うれしいことですが、反面、時代の流れにさびしさも心に同居しています。でも、めでたいことに素直に感謝です。



企業リスク

リスクマネジメントではよく危機管理という言葉が使われます。リスクマネジメントとは、経営者の皆さま方が将来予想される不測の事態に向けて準備をすること。比較的能動的で、また、リスク管理とは、想定されるリスクが起こらないように、起こる前に予想して準備をすることです。そして、危機管理とはどちら

かという、発生したトラブルに対して対策を考えることです。

企業経営におけるリスクとは、トラブルがどれぐらいの確率で発生するのか、その結果でどれぐらいの損害があるのかの組み合わせです。つまり、経営者として大事なものは、リスクを想定して対策を打つべきか、コストをかけるべきか、を考えるということが非常に重要であります。保険をかけることはリスクマネジメントではありません。保険会社の立場からすると、最終手段です。コストをかけてまで予防、防止するのか、しないのか経営判断そのものがリスクになります。

では、どんなリスクがあるのか？純粋なリスクでは地震、台風、事故、火災、盗難、これらは企業においては財産の減少を伴いますから、だいたいファイナンスで済むということになります。一方、社会的リスクでは、景気変動、為替、政治の変動、法令が改正、投資の失敗、政情の変化。被害としては、資本が減少したり、取引先が変わったり、経営体制の変更等もあります。財務リスクでは、投資の失敗、取引先の債務不履行問題。労務リスクと言われている世界では、セクハラ、パワハラ、もしくは労働争議。政治リスクでは、相手国の輸出制限、国内の税制変更、制度改変。それからシステムリスク。情報漏洩やシステムダウン。そして、訴訟リスクとしては知的財産、環境汚染、騒音、製造物責任など様々なリスクがあります。

では次に、自分の会社にはどういうリスクがあるのか、まずはいろいろ考えると、これは発生確率と影響の大きさの掛け算がリスクの大きさになります。いくら損害がかかるのかというお金の問題もさることながら、それよりは信用とか評判といったリスク。これが企業問題としては大きいということです。

リスクマネジメント

次に対策というのは、リスクコントロールとわれわれは呼びます。まずはリスクを回避するという事です。そもそもリスクの原因となる活動をやめることです。もうひとつの判断としては、リスクを取っても、うちの会社では大丈夫だというリスクテイクです。それ以外にはリスクの軽減。起きることは間違いない。起きてしまったあとの発生頻度を抑える、もしくは損害額を軽減するための行動ということになります。それ以外にファイナンスのほうでいちばん簡単なのは、ここで初めて損害保険という言葉が出てきます。このリスクは外に出してしまう。保険に入ればいいということです。これは、われわれですと、最大損害額を想定して保険額を判断しなければなりません。お金があれば保険に入らなくてもいいわけです。つまりリスクの保有。リスクマネジメントとは、リスクを考えて、リスクの評価をし、対策を考える。

損害保険会社の役割としては、こういったリスク全体をマネジメントするためのリスク診断をする会社でもあります。最近では、企業でリスクを管理するための担当部署というのが増えてきておりますし、こういった部分が企業経営においては、相当重要度を増していると言われております。しかし、時代とともに企業を取り巻くリスクというのは大きく変わりつつあります。そして経営者の皆さまはそのリスクをとるのかどうか。それから、お金をかけてまで対策をとるのかどうか、部門ごとが考えられるような風土を作っていただいて、環境変化に対応できる企業経営を進めることが、われわれ保険会社の立場からはお勧めできることかと思っております。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (1/29)	101名	62名	修正出席 (1/15)	100名	92名	90名	97.83%
メイクアップされた会員	(山形) 山賀 賢司、佐藤 章夫、早川 徹、松原 洋、清野 伸昭、鈴木 謙司、吉田 福平、酒井 啓孝 海和 浩運、浦口 太門、武田 周治 (山形北) 小松 公博、伊藤 歩、遠藤栄次郎、浦口 太門、三沢 大介、武田 博文、風間 義朗、伊藤 義彦						



コンピューターウイルスの脅威

今日はコンピューターウイルスについてお話をさせていただきたいと思います。

リオオリンピックの期間中、電力会社が1300万回ウイルス攻撃を受けたというのは有名な話でありまして、東京オリンピックに向けて、多分来年、再来年にはサイバーテロがどんどん増えてくるものと思います。狙われるのは中小企業です。大企業はしっかりとセキュリティ対策は既になされていますから、ハッカーたちは、狙ってきません。狙ってくるのが、われわれ中小企業です。弊社もここ5カ月調べてまいりました。1000回近くありました。1月22日にはたった1分間の間に200回攻撃されています。山形でも「これぐらい攻撃がありますよ」ということをぜひ皆さんご承知おきください。

では、セキュリティ対策はなぜ必要かということ、まず金銭の損失、顧客の損失、信用の損失、業務の損失。また、顧客情報が洩れた場合、賠償、訴訟というものも考えられると思います。備えあれば憂いなしということで、今すぐにチェックしてサイバーセキュリティ対策をしていただければと思います。

それでは、どういう攻撃があるのかご説明いたします。標的型攻撃、身代金型攻撃があります。ウェブサービス上からカード情報を搾取、詐欺メール、集中アクセス、社員による内部情報漏洩、ネットバンキング不正。今はスマホでも送金などができる時代になってきましたので、こういうのもたいへん危ないと思っております。あとは、スマホ乗っ取りです。特にiPhoneよりもAndroid系のスマホを使っていらっしゃる方は、ぜひお気をつけいただきたいと思います。そして、ワンクリック詐欺。あとひとつが、IoT家電。

対策としては、絶対見覚えのないメールは開かないでください。ゴミ箱が削除です。これは社員の方々にも徹底させていただきたいと思います。あとは、セキュリティソフトを整備していただきたいということ、アプリケーションも必ず最新のバージョンを使っていただきたい。あと、ID、パスワードは使い回ししない。また、社内からのデータの流出ということを防ぐために、社員のログ管理、USB禁止。絶対禁止ですね。持ち帰らないように。ノートパソコンの持ち出し禁止。この辺を徹底していただくか、今、これを全部できてしまうソフトウェアもございます。

そして、何かあった時に復旧するためには、やはりデータはこまめにバックアップを取っておいていただきたいと思います。スマホを乗っ取られないためには、携帯の公式サイト以外からはアプリケーションをインストールしないようにしてください。

最後に、何かあった時に復旧するためには、やはりデータはこまめにバックアップを取っておいていただきたいと思います。スマホを乗っ取られないためには、携帯の公式サイト以外からはアプリケーションをインストールしないようにしてください。

AI時代の到来

最後、人工知能。AIについてお話しします。車は、もう自動運転です。フィンテックでもスマホでも全部金の出し入れできる。だから営業店は将来、ロボットとATMしか置かない時代が来ると思います。ものすごい勢いで人工知能というのが進んできております。

働き方改革でAI、ロボットが人手不足を十分に解消していけるとは思いますが、2045年には第4次産業革命ということで、ロボットがロボットを勝手に作ってしまう時代が来るそうでもあります。あと27年後です。まさにターミネーター、倫理・道徳をそのAIに載せない、ターミネーターのようにロボットが勝手に戦争するロボットを作ってしまう、そうなる可能性もあるわけで、倫理も含めて人工知能がどこまで進むのか楽しみであります。

今日はウイルスの話させていただきましたが、皆さまインフルエンザウイルスには罹らないように、ご注意ください。